

2014年度生と死を考える会通常総会記念講演会

— 残された者の生き方 —

「3・11」の喪失を経て、「新しい生き方を創る」

日時： 2014年5月31日(土)
14時～15時30分(受付13時45分～)

場所： 東京YWCA会館 地下1階 B11室

講師： 木村紀夫氏



プロフィール:

1965年 福島県大熊町生まれ。2011年3月11日、勤務中に被災。

海岸近くの自宅は流失。翌12日早朝から福島第一原発事故により、故郷を追われる。父・王太朗さん(当時77歳)は49日後に妻・深雪さん(当時37歳)は三カ月後に遺体発見。次女汐凧ちゃん(当時7歳)は行方不明。汐凧ちゃんの捜索は今も続き、帰宅困難区域になっている自宅周辺に毎月通う。

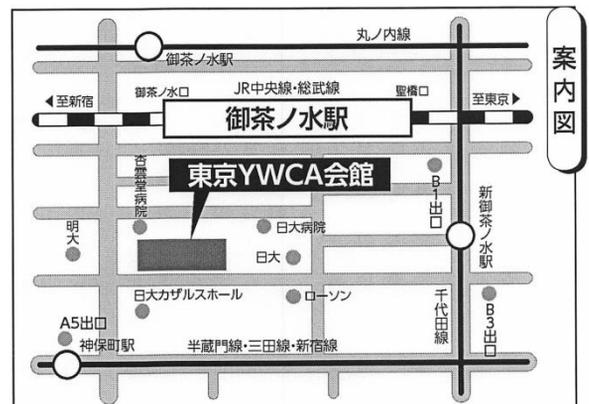
現在は、避難先の長野県白馬村で長女・舞雪ちゃん(中学2年)と二人暮らし。中古ペンションを改修し、できる限り電気に頼らないエネルギー循環型の宿泊所を目指し、有志の人とオープンに向けてワークショップを重ねている。

参加費： 会員・学生1500円、一般2000円
(当日受付にてお支払ください)

申込：下記主催「NPO法人・生と死を考える会」宛に、郵便・FAX・メール・電話(火金午後)にてお申込みください。

講演会終了後：15時30分～17時 懇親会を行います。(参加費1,500円)

主催：NPO法人 生と死を考える会
〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台1-8-11
YWCA会館内
TEL:03-5577-3935
FAX:03-5577-3934
Mail: koenkai@seitosi.org
Hp: www.seitosi.org/



本会は特定非営利活動法人(NPO法人)であり、
政治・宗教・営利活動を行うものではありません。